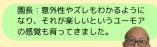
友だちとの**関わりの中で**、少しずつ**相手の気持ちに 目を向けて、やりとりしてみようとする**。 友だち同士で**気持ちが通い合う喜び**を感じていく。

10・11・12



わかちゃんが、お口に手を当てて「あま〜い!」と言うと、吉田先生もアナウンサーみたい!とマネっ子して「あま〜い」 他のお友達にも広がって、「あま〜い」がブームになりました^^



友だちや先生と同じことをやってみる、真似っこしあう、ということが好きな子どもたち。 お昼ごはんの時間も、こんな風にいろんなやりとりがあって、「共食」の良さを感じます。



オレンジの皮、いっしょだね。 かんぱーい!











12月頃になると、おままごとブームがきました。 夕方の時間、1時間以上もの間ちゃぶ台を囲んでいる 日もありました。みんなイメージを持って、一緒に 「いただきます」するなど、かわいいです。

まだ、自分のやりたいことや使いたいものをめぐって ケンカもあるけれど、大人の力も借りつつ、ちょっと ずつ同じイメージを持って遊ぶような姿も出てきてい ます。

園長:共通のイメージを共有できる仲間も増えてきて、2歳児のごっこ遊びに似てきましたね。



はるきくんがしょうたくんの電車遊びをみて、足を広げた! と思ったらなんとトンネル役として参加していました。お互 いに楽しめる方法を思い出してやってみる、一緒にイメージ を共有して楽しむ姿がよくみられるようになってきました。







トンネルごっこもよくやっていましたね。最初は 大人の脚の間をくぐっていたけれど、いつのまに か、子ども同士でも楽しむように…。